

2025年8月

2025年8月16日(火)、臨床研修医を対象とした総合講座の一環として、柏木看護師長による「チーム医療(多職種連携)」に関する講義が開催されました。

本講義では、医療現場における多職種連携の重要性について、具体的な事例や経験を交えながら解説されました。特に印象的だったのは、経済産業省が提唱する「社会人基礎力」の枠組みを用いた自己評価の紹介です。この枠組みは以下の3つの力と、それぞれに対応する12の要素から構成されています：

- 前に踏み出す力(主体性、働きかけ力、実行力)
- 考え抜く力(課題発見力、計画力、創造力)
- チームで働く力(発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力)

この評価表を活用することで、自身の強みや課題を客観的に把握することができ、今後医療チームの一員としてどのような力を身につけるべきかを考えるきっかけとなりました。

講義の終盤では、「チーム医療を推進するためには、職種間でお互いを理解し、学び合う姿勢が不可欠である」とのメッセージで締めくくられ、研修医が多職種連携の本質について深く考える時間となりました。

